



宇宙医学を共同研究

徳島大、韓国・延世大と協定

徳島大学医学部は29日、韓国ソウル市内の延世大学と、宇宙医学・栄養学の研究に関する連携協定を結んだ。宇宙での医療研究が地上の医療にも応用できることから、徳島大の知識や延世大の設備を共有しながら宇宙医学の促進へ共同研究を進める。期間は5年

協定書にサインする徳島大の玉置医学部長(左)と延世大のチヨイ宇宙生命科学研究部長(右)徳島大蔵本キャンパス

間。

徳島大医学部・同大学院栄養生命科学教育部と延世大の宇宙生物学、医療工学の両研究所が連携する。無重力下での筋肉委縮予防と骨粗しょう症への応用研究、LEDの殺菌効果やエネルギーを生かした宇宙生活での有効活用、骨の委縮予防など、両大学の研究に共同で取り組む。日本食、韓国食による健康維持の検討や学生の交換留学も進める。

日本では、宇宙食の遺伝子組み換えが禁止されているなど研究開発分野で制限が多いが、韓国は規制が少なく研究開発しやすい。さらに延世大は世界中の製薬企業が集まる韓国の医療特区にあり、治療環境が整っているメリットがある。

徳島大蔵本キャンパスであった調印式には、徳島大の高石喜久副学長や玉置俊晃医学部長ら4人、延世大のチヨイ・インホ宇宙生物学研究部長ら3人が出席した。

(大塚康代)